

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



|      |             |     |       |                       |           |
|------|-------------|-----|-------|-----------------------|-----------|
| ボール名 | トライデント・ネメシス | 投球者 | 徳江 和則 | センター                  | 平和島スターボウル |
| RG   | 2.520       | △RG | 0.049 | ●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール |           |

**テストボール：TRIDENT NEMESIS**

フレアーの幅  インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

PAPからピンとの距離  インチ

4-1/2

番

研磨剤

**比較対照ボール：TRIDENT ABYSS**

フレアーの幅  インチ

表面加工

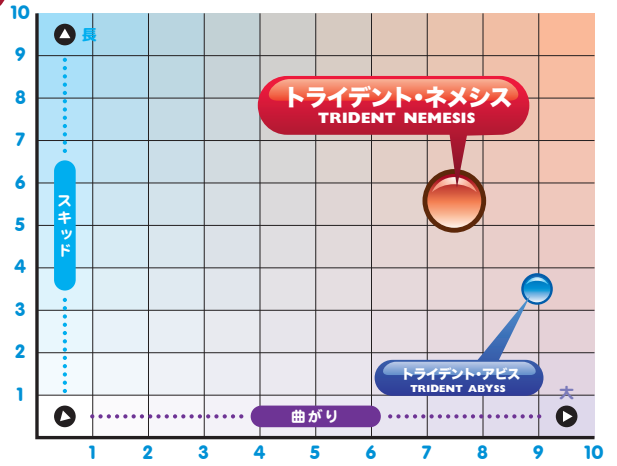
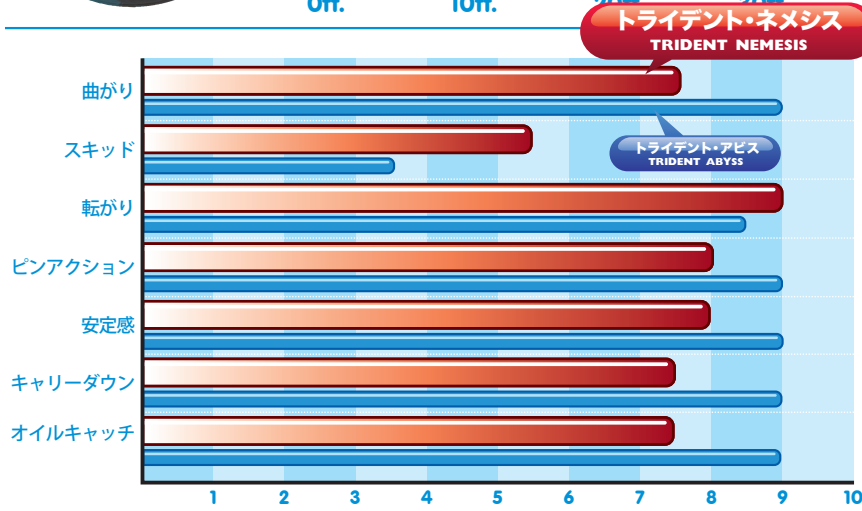
- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

PAPからピンとの距離  インチ

4-1/2

番

研磨剤



### ボールの評価

約1年半弱ぶりに発売されるTRIDENT NEMESISは新しいコアと新しいカバーで構成され、光沢のある加工でスキッドを重視しながらキャッチも活かす、MOTIV社が新たな領域を模索して作られた、そんな意図を伺える非対称コアボールです。MOTIV社は最近特にスキッドとバックエンドを意識した性能を求める傾向にあり、このTRIDENT NEMESISもそのあらわれの一つと言ってもよいでしょう。注目すべきは今回、現行のTRIDENTの代名詞でもあったTurbulentコアから全く新しいSidewinderコアへと変更してきたことです。それは2020年に迫ったバランスホールのルール変更に伴うもので、新しいSidewinderコアは様々な角度から検証から採用され、より印象的なバックエンドモーションと強力な持続性を兼ね備えたものです。最新のInfusion HV(High Volume) Pearl Reactiveは、これまでにない角度ある曲がりを出せたSUPRAに使用したInfusion Pearl ReactiveのHV(大容量)バージョンで、SUPRAではやや薄めのオイル条件を対象としていましたが、NEMESISはより多くのオイルを処理できるようになりました。SUPRAと投げ比べるとやはりオイルに対する強さは感じますが、前作ABYSSのような圧倒的な手前から噛みあがる強さとは違う、オイルを掴んでもスキッドを伴う仕上がりで、限定されたステージではなく、幅広いステージでNEMESISを使用できるようになっています。

### 特記事項

**最新作のTRIDENTは前作のゴリゴリのキャッチ系から幅白いコンディションを攻めるHP領域のボールとして生まれ変わりました。幅広い層の方に投球して頂けると幸いです。**